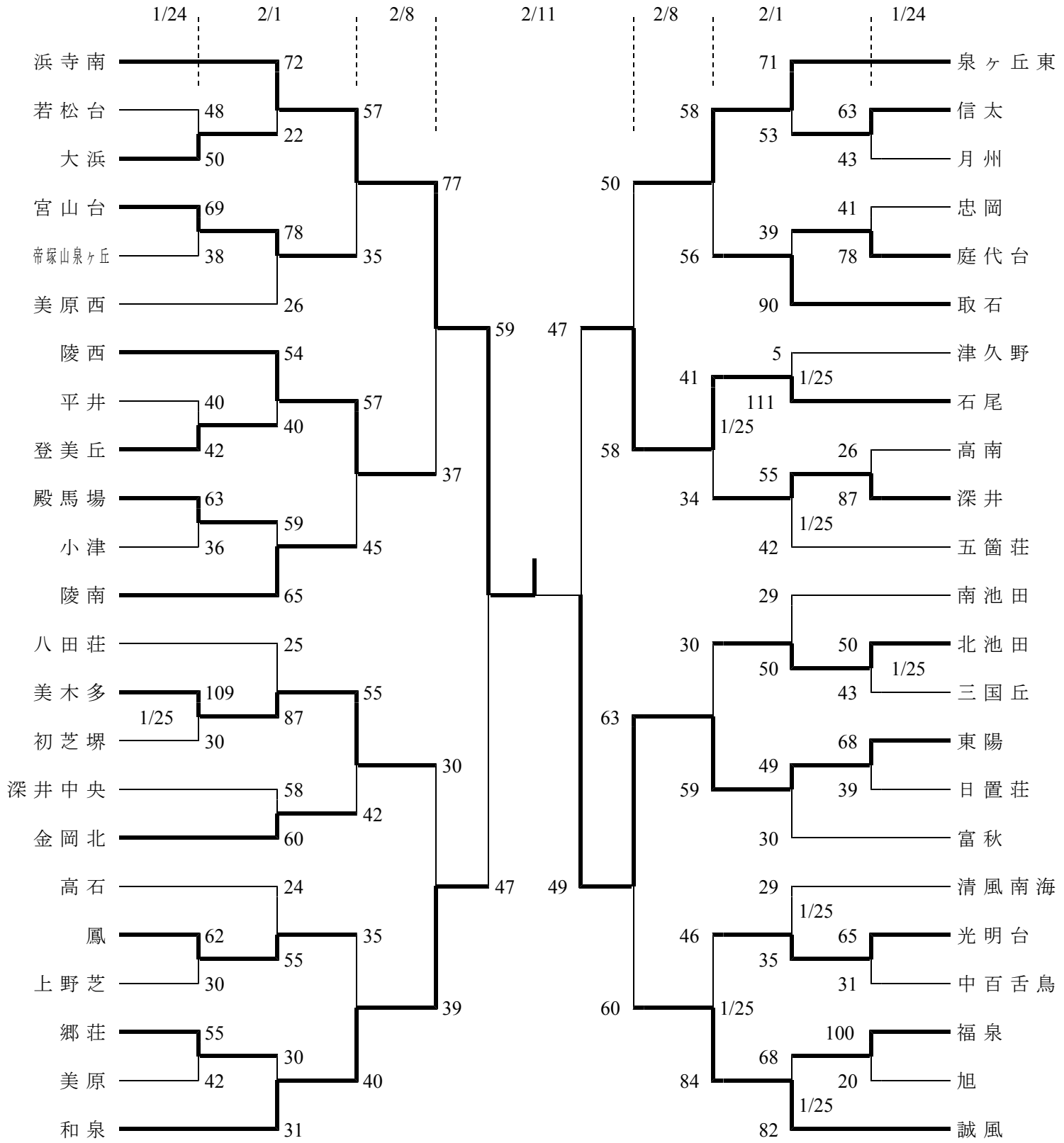


# 2008年度泉北地区新人大会

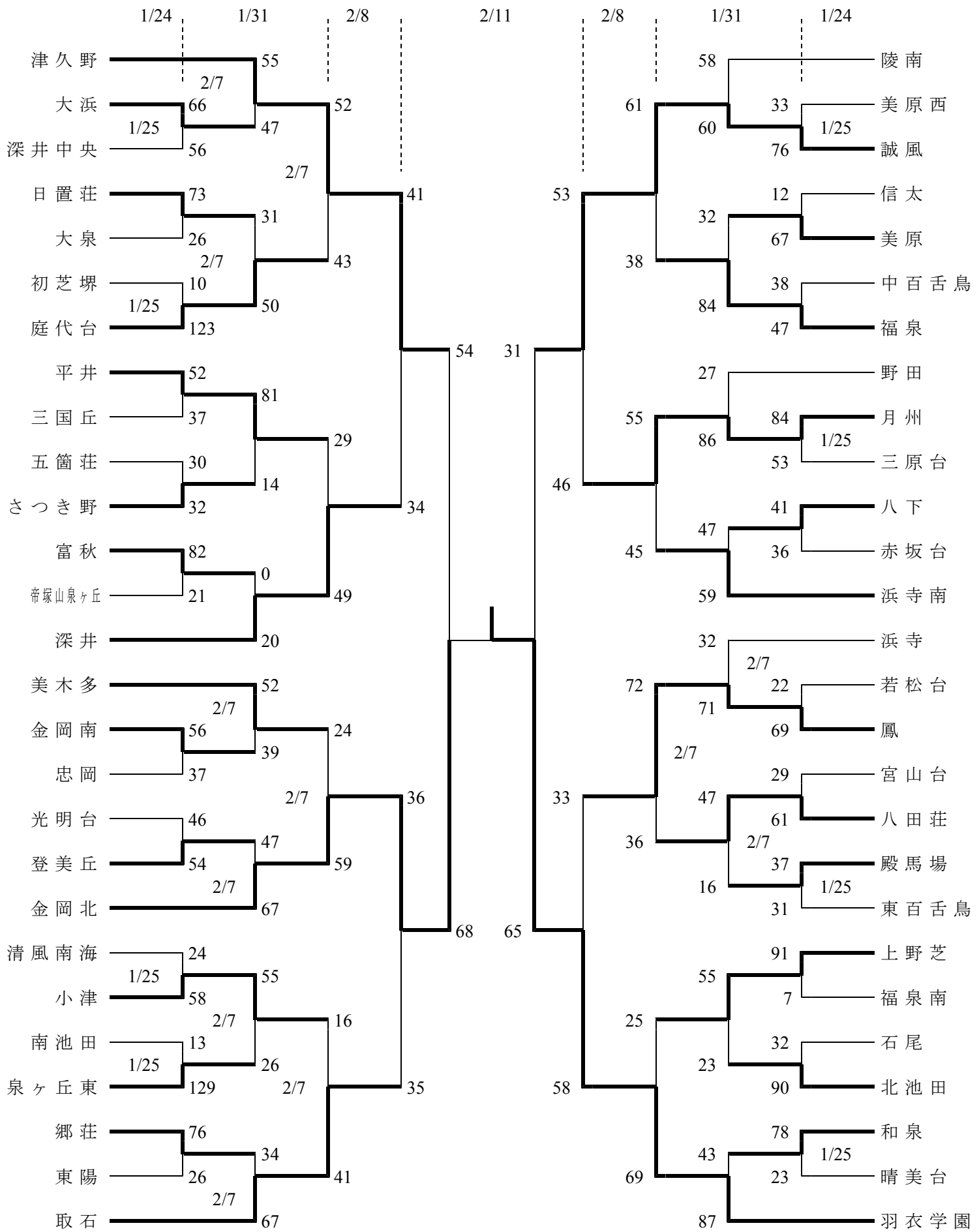
## 男子の部



### 決勝

浜寺南      東陽  
 65 - 51  
 17 1Q 16  
 12 2Q 12  
 18 3Q 5  
 18 4Q 18

# 女子の部



## 決勝

金岡北	羽衣
4	4
6	1Q 16
15	2Q 17
10	3Q 14
13	4Q 18

## 決勝戦評

### ◎男子

浜寺南 — 東陽

両チームともにマンツーマンでスタート。出だしから東陽⑤のジャンプシュートが冴え、パスがうまくまわらない苦しい状況の中、孤軍奮闘する。対する浜寺南はミスが続き、思うような展開にならない。それでも④、⑤、⑥の流れるような連携プレーで持ち味を出し始める。

2Qに入っても互いにリズムを譲らない緊迫した状況が続くが、東陽が浜寺南のディフェンスのプレッシャーに耐えきれず、ミスが続発してしまう。それを機に浜寺南は⑤を基軸に味方を生かすパスから加点し、一時点差を7まで広げる。これで流れをつかんだかのように思われたが、その後は双方単調なシュートが続き、決定的なプレイのないまま浜寺南の1点リードで前半を終える。

3Qで浜寺南はシュートブロックからの速攻でゲームの流れを支配し、着実に点差を広げていく。東陽は焦りからかパスミスやファウルが重なり、追いつくことができない。

4Qで東陽は④の1対1、⑤⑧のポストプレイでセットオフェンスのリズムを作り、逆転の機会を狙う。それに対し、浜寺南は真っ向から受けて立ち、巧みなパスワークで追撃を許さない。終始リードを守りきった浜寺南が14点差をつけ決勝を制した。

(草島)

### ◎女子

金岡北 — 羽衣学園

羽衣④のポストプレイから試合が動き出す。序盤、金岡北はペースがつかめず、羽衣⑦に速攻を許す。金北④の3P、⑥のリバウンドシュートでリズムを取り戻すが、逆に羽衣④や⑤の1対1やポストプレイを止められない。さらに、残り1分で羽衣の2-2-1ゾーンプレスが効果的に決まり、16-6と得点を広げた。

2Qに入ると、羽衣⑥が力強いインサイドプレイで得点を重ねる。金岡北は1-2-2ゾーンに切り替え、ディフェンスからリズムを作ろうとするが、羽衣のハーフコートトラップをなかなか破ることができない。しかし、羽衣が徐々にファウルトラブルに陥り、金岡北は着実にフリースローを沈める。その結果、点差は広がらず33-21で前半を終える。

後半の出だし金岡北は次々と3Pを放つがなかなか決まらず、リバウンドを支配され、苦しい展開になる。逆に羽衣はリバウンドからの速攻、⑥のインサイドプレイ、アウトサイドからの1対1とリズムよく得点を重ねる。47-31で羽衣のリードは変わらない。

4Qは金岡北⑤⑨の連続3Pから金岡北が元気を取り戻す。対する羽衣も3Pを入れ返し、リードを保つ。シュートが落ちたところのリバウンドに強さを見せた羽衣が65-44で優勝を決めた。

(川人、市原、増尾)